

はにい

こんにちは

平成26年5月29日



夕方の学校。先生たちが校門に並んでいます。

「こんにちは」

「こんにちはー」

自転車で登校してきた子が先生たちに応えます。車を運転して登校してきた生徒もいます。

「小学校から中学校までずっと不登校で、そのあと10年くらいしてからこの学校へ通い始めた生徒もいるんですよ」

「不登校だった生徒って多いんですか？」

「ええ。そういえば昨年度、不登校相談会に相談に来た子が、今年うちに入学してきましたよ。今、毎日来ています」

「え！それはよかった」

「ところで、この学校を中途退学してしまう生徒はどのくらいいるんですか？」

「それが昨年度は4月から2月くらいまでずっと一人も出なかったんですよ。中学校でほとんど不登校だったような子が高1で皆勤賞になることもあります。」

「先生方が努力してることがあるんじゃないですか？ こうして毎日校門に立つとか」

「そうですね。まず、先生たちのスキルが高い。例えば、生徒と話すときの立ち位置ひとつをとっても、相手を受容するように自然に斜め横に立つ」

「なるほど」

「それから、教師が一人で問題を抱え込まないようにしています。ある生徒に何かが起こったときは、その日のうちに知らせ、なるべく早く関係する職員が知っている状態にします」

「生徒が安心して暮らせる」

「あと、学習については、生徒が色々な資格を取得できるように力を入れています。そのため補習も行っています。資格の取得は自信になるんですよ。そういう成功体験をするというのが大事ですね。・・・あ、こんにちは」

ところが声をかけられた生徒は、だまって校門を入っていきました。

「ぜったいにあいさつしない子にもあいさつするんです」

「どうしてですか」

「生徒は黙っていても、こちらがあいさつしないと、どこかさみしそうなんですよ」

生徒は、校門を入ると、さっき一度外したイヤホンをつけなおしました。



『はにい』は、コミュニケーションツールです。みんなで語り合しましょう。
ご意見・ご感想は → inochi4027@pref.kanagawa.jp